

事 例 紹 介

《A 子さんへの支援を考える》

（A さんの紹介）

小学校 2 年生：普通級在籍、診断名はない。

児相にて田中ビネーで I Q 7 8、知的ボーダーの判定。手帳なし。

（家族構成）

- ・父～仕事が忙しく、母に対して「お前に任せている。」と言って子育てへの協力は無い。
- ・母～専業主婦。家事と子育ては主に母がやっている。
- ・弟～5 歳、幼稚園の年長に在籍。
- ・祖父母～父方・母方ともに本州在住。（祖父母の協力は得られない。）

（家族について）

父の転勤により、道外から A さんが小学校に入学する 4 月に札幌に転居。そのため、A さんの幼稚園前の記録はない。A さんは小さい時に言葉の遅れがあり、母は保健センターなどに相談したことはあったもののその後言葉が出てきたので、多少の心配はあったが小学校の普通級に就学させた。

弟は幼稚園に在籍しているが、落ち着きがなく、よく話すが一方的な内容が多い。ミニカーが大好きで車種の名前はほぼ覚えている。弟は 3 歳児健診で面談ありだったが、引っ越しもあったことと言葉が増えて知識も増えているので、家族は問題ないと思っている。

（事例の経過）

A さんは 1 年生 2 学期後半頃からテストを白紙で出すようになり勉強についていけなくなった。2 年生になり母は小学校側から「算数と国語は、支援級で先生と少人数で勉強させます。」と言われ、心配になり教育委員会に相談し、放課後等デイサービスという療育機関がたくさんあることを知った。教育委員会から地域の相談室を紹介され、相談室→児童相談所→放課後等デイとつながり、現在 1 事業所を週 2 回利用している。

（相談室からの情報）

支援員が学校訪問をしたところ、朝の会・帰りの会・体育や音楽・給食などは参加できているが、長時間座っているような授業は姿勢が崩れたり、集中できていない様子。

支援学級での国語と算数は短時間で集中できるように学習を組んでくれているので、先生を頼りにしながらも頑張っている。休み時間は友達らしい子はおらず、何をしたいのかわからないままふらふら歩きまわっていることが多いらしい。

母からの問い合わせに対して、学校側からは「おとなしいお子さんですが、がんばっています。大丈夫ですよ。」という返事しか返ってこないと母からは聞いていたが、学校側としては、母から学校への要求も多いためあまり母に気苦労をかけさせたくないし、支援学級の方が本人にとって落ち着いて学習に向かえると考えている。保護者の意志が『普通級で』ということなので、学校側も

保護者に強く言えず、様子を見ている状況である。

(放課後等デイサービスでの様子)

現在利用中の放課後等デイでは6人の少人数グループに参加している。本人の発達に合わせた個別学習、ゲーム、公園遊び、調理など流れや設定活動が決まっている。やる事が分かると活動に参加できており、のびのびとしている。こちらではあまり学習的な活動を主としては行ってはいない。

「家ではお母さんがすぐ怒る。」「弟がミニカーを片づけないから私が注意してあげるんだ。」「弟はおもちゃを出しっぱなしなの。」などスタッフに話すことがある。学校のことは「先生の話が分からない。」「テストがむずかしい。書いていることがよくわからない。」と言っている。

(家庭での様子)

家庭では自分では遊びを決められず、弟の遊びに注意が向くため、ちょっかいをかけたたり弟を注意したりして自由に遊びたい弟との間によく言い争いが起こり、姉は弟に「教えてあげる」「～やりなさい」などの仕切りたがる言葉がよく出るようだ。A子さんは外出先ではおとなしいが、母曰く家庭では普通に話しているとのこと。(家族との日常会話に関しては、普通に近い状態のやり取りができていると思われる。)

(母の様子・ニーズ)

子育ては一生懸命やっているが子どもの発達をうまく捉えておらず、姉弟のタイプも違うためケンカになる二人にイライラしたり、子育てを負担に思うことがある。心配事があると父親に言っても「任せる」と言われるので、いろいろな機関(学校、教育委員会、放課後等デイ、相談室、児童相談所)にその都度相談し、「子育てが大変だ。学校が～してくれない。もっと～してほしい。」等の要求を訴える。家ではA子さんに対して勉強をさせようとするがうまく教えられず、本人も覚えてくれないので叱ったり指示的な対応になることが多い。

母親のニーズは、相談室に対しては「家で宿題をやらせても、全然問題を読もうとしない。学校の勉強内容が分かっていないのは、先生が分かるように教えてくれないからだ。もっと本人に分かるよう説明してくれればいいのに。放課後等デイでも、もっと勉強させてほしい。」と言っている。

放課後等デイに対しては「学校が勉強を教えてくれないから困る。もっと本人に分かるように説明してほしいがやってくれない。デイで学校の宿題や勉強を一緒にやってほしい。家では兄弟げんかがよく起こるので、それを止めるのだけでも大変。二人が仲良く遊べるようにお姉ちゃんが我慢できるようにしてほしい。」と話している。

現在、相談室には母からの電話が度々あり、必要に応じて学校や放課後等デイサービス事業所と連絡を取り、状況把握に努めている。